

平成27年度

病害虫発生予察情報 第 16 号

主要病害虫の発生概況

北海道病害虫防除所 平成 27 年 10 月 26 日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshoh/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

10 月 1 日現在における主要病害虫の発生概況は下表のとおりです。

なお、「近年の発生状況」は平成 22 年から平成 26 年までの発生状況を示しており、◎はやや多～多、□は並、△はやや少～少を表しています。各年の発生状況は、それぞれ過去 10 年間の平年値との比較による評価です。

本年注意報を発表した病害虫は、病害虫名の後に「*」と記しました。

作物名	病害虫名	近年の発生状況					本年の発生期・発生量	
		22	23	24	25	26	発生期	発生量
水稲	いもち病(葉)	◎	△	△	△	△	並	少
	いもち病(穂)	◎	△	△	△	△	並	少
	紋枯病	◎	□	◎	◎	◎	並	やや多
	縞葉枯病	△	□	◎	□	△	—	並
	ばか苗病	□	□	◎	◎	□	—	並
	苗立枯病	—	—	—	(△)	(△)	—	(並)
	種子伝染性細菌病	—	—	—	(△)	(△)	—	(少)
	ニカメイガ	□	△	△	□	△	やや早	少
	セジロウンカ	△	△	△	△	△	並	少
	ヒメトビウンカ	△	□	□	□	□	やや早	並
	イネドロオイムシ	□	◎	△	△	△	並	少
	アカヒゲホソミドリカスミカメ *	△	△	△	□	△	やや早	やや少
	イネミギワバエ	△	△	△	◎	◎	並	やや多
	フタオビコヤガ	◎	□	□	□	△	並	少
秋まき小麦	赤さび病	△	△	△	◎	□	並	少
	うどんこ病	△	△	△	△	△	並	少
	雪腐病	△	△	◎	□	□	—	少
	眼紋病	□	□	△	△	△	—	少
	赤かび病	◎	◎	□	△	△	—	少
春まき小麦 (春まき)	赤かび病	◎	◎	△	△	△	—	少
	ムギキモグリバエ	—	—	□	◎	△	早	少
春まき小麦 (初冬まき)	赤かび病	□	△	△	△	△	—	少
	ムギキモグリバエ	—	—	—	—	(△)	(早)	(やや少)
大豆	べと病	□	□	□	△	△	並	少
	わい化病	△	△	△	△	△	—	少
	マメシンクイガ	◎	◎	◎	◎	◎	並	並
	食葉性鱗翅目幼虫	◎	□	△	◎	◎	並	やや少
	タネバエ	△	△	△	△	△	—	少

注1) 発生期の—は初発期が評価できない病害虫であることを示す。

注2) ()は、平年値が無いため暫定的な評価あるいは評価していないことを示す。

作物名	病害虫名	近年の発生状況					本年の発生期・発生量	
		22	23	24	25	26	発生期	発生量
小豆	菌核病	□	△	△	△	△	並	やや少
	灰色かび病	△	△	△	△	△	並	少
	茎疫病	□	□	△	△	△	—	少
	落葉病	△	△	△	△	△	—	少
	食葉性鱗翅目幼虫	◎	◎	□	◎	□	並	やや少
菜豆	菌核病	□	□	△	△	△	並	少
	灰色かび病	□	△	△	△	△	やや遅	少
	黄化病	△	△	△	□	△	—	並
	タネバエ	△	△	△	△	△	—	少
ばれいしょ	疫病 *	□	□	□	△	△	並	少
	塊茎腐敗	□	□	□	△	□	—	少
	軟腐病	□	□	◎	□	□	—	並
	黒あし病	□	◎	◎	◎	□	—	並
	そうか病	△	□	□	□	□	—	並
	粉状そうか病	△	□	□	□	△	—	少
	アブラムシ類	△	△	△	△	□	並	やや多
てんさい	褐斑病	◎	◎	◎	△	□	並	やや少
	根腐病（黒根病を含む）	◎	◎	□	□	△	—	少
	そう根病	△	△	△	△	△	—	少
	西部萎黄病	—	—	—	—	—	—	（並）
	ヨトウガ（第1回）	◎	△	△	◎	◎	やや早	少
	ヨトウガ（第2回）	◎	△	△	◎	◎	並	少
	デンサイモグリハナバエ	△	△	△	△	△	並	少
たまねぎ	白斑葉枯病	◎	□	□	△	△	やや遅	やや少
	軟腐病	◎	□	□	△	△	—	少
	乾腐病	◎	△	□	□	□	—	やや少
	タマネギバエ（タネバエを含む）	△	◎	△	△	△	—	少
	ネギアザミウマ	□	□	□	△	◎	並	やや多
	ネギハモグリバエ	—	—	—	—	—	—	（—）
ねぎ	さび病	△	△	△	△	△	—	少
	ネギアザミウマ	◎	◎	◎	△	△	並	少
にんじん	黒葉枯病	◎	□	□	◎	△	—	少
だいこん	軟腐病	◎	□	◎	◎	△	—	並
	キスジトビハムシ	◎	□	□	□	△	—	少
キャベツ	コナガ	△	△	△	△	△	やや遅	少
	ヨトウガ	△	△	△	△	□	やや早	少
ブロッコリー	コナガ	—	—	—	—	—	（—）	（—）
	ヨトウガ	—	—	—	—	—	（—）	（—）
りんご	モニリア病	□	◎	△	△	△	並	少
	黒星病	△	△	△	△	◎	遅	やや多
	斑点落葉病	△	△	□	△	◎	やや遅	やや多
	腐らん病	△	□	□	□	□	—	やや多
	ハマキムシ類	△	△	△	△	◎	やや早	やや少
	モモシンクイガ	◎	◎	△	△	◎	やや早	やや多
	ハダニ類	◎	△	△	◎	△	やや遅	少
	キンモンホソガ	△	△	△	△	△	遅	少
	ネズミ類	□	□	△	△	△	—	少

農薬は適切に保管管理及び処分しましょう!!

■ 農薬の保管管理等に当たって

農作業も終盤となり、農薬の使用も少なくなりますが、次年度に向けて適切に保管管理を行ってください。

- 1 農薬は乾燥した冷暗所に保管箱又は保管庫を設置し、施錠して保管してください。
- 2 農薬の誤用を防止するため、種類別に分類整理して保管してください。特に除草剤は、誤って使用すると薬害等の被害を招く恐れがあるので、他の農薬と明確に区分してください。
- 3 毒物又は劇物に該当する農薬は、毒物及び劇物取締法により容器や包装、保管場所への表示等が定められているので、これを遵守してください。
また、消防法に基づく危険物に該当する農薬は、貯蔵及び取扱いの基準が定められているので、これを守ってください。
- 4 誤飲等を防ぐため、農薬は他の容器への移し替えや小分け、特に食品容器への移し替えは行わないようにしましょう。
※ 昨年、道内でも飲料ペットボトルへの移し替えによる誤飲事例がありましたので、絶対に移し替えはしないようにしましょう。
- 5 使用済みの農薬の空容器は、他の用途には絶対に使わないでください。
また、農薬の空容器及び残農薬の処分に当たっては、関係法令に基づき適正な処分に努めてください。
なお、農薬の空容器の処分に当たっては、容器に農薬が残らないよう容器内の農薬を適切に除去してください。

農薬に関してのお問い合わせは

道庁農政部生産振興局技術普及課（TEL:011-231-4111(内線)27-838)

北海道病虫害防除所（TEL0123-89-2080）

または最寄りの総合振興局・振興局農務課にご照会ください。

登録情報や農薬取締法等については

農林水産省ホームページの「農薬コーナー」(<http://www.maff.go.jp/nouyaku/>)をご覧ください。